

北海道浮魚ニュース

平成 11(1999)年度 3号 (通巻 No.49)

1999 年 6 月 22 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋スルメイカ北上期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間：1999 年 6 月 10 日～17 日

調査海域：道東太平洋 [北緯 41 度～本道沿岸、東経 143 度～146 度] (図 1)

**前年より漁獲良ながら、北上群はまだ低密度
外套長モード (平均) 17 c m**

調査区域の表面水温は 9.1 ～ 15.9
、100 m 深の水温は 0.6 ～ 11.0 でした。三陸沖暖水塊の北上のため、西側では前年より表面水温が 3 ～ 4 高くなっています。逆に東側では、親潮第二分枝の影響で前年より表面水温が 1 程低くなっています。

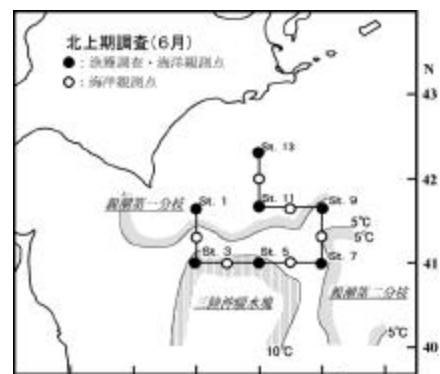


図1 調査点と100m深水温

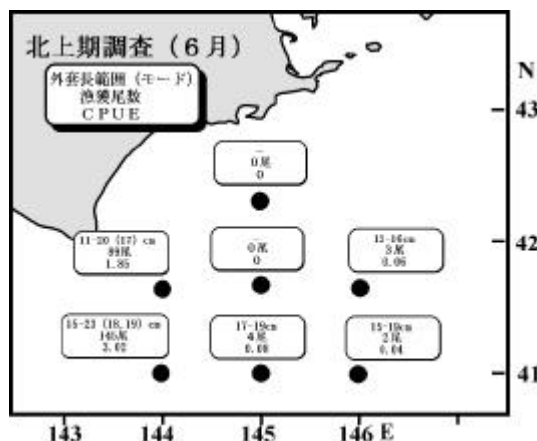


図2 スルメイカ漁獲調査結果

7 調査点で漁獲試験を行い、
5 調査点でスルメイカ 243 尾を漁獲しました (図 2)。その他のイカ類としてはツメイカが 315 尾でした。CPUE (イカ釣り機 1 台で 1 時間に漁獲するイカの尾数：この数字が大きいほどイカが多く分布している) は最も高い点で 3.02、

調査全体の平均 CPUE は 0.75 と低い値でした。漁獲が良かったのは、東経 144 度の調査点でした。

スルメイカの外套長（胴長）は 11 ～ 23cm の範囲で、モード（平均的な大きさ）は 17cm でした。モードは、前年より 4 cm 大きく、例年並の大きさでした。

表 1 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果（1993 ～ 1999 年）

	調査日程	漁獲尾数	平均 CPUE	外套長 範囲(cm)	外套長 モード(cm)	調査点数
1993年	6月14日～30日	259	0.43	13 - 18	17	11
1994年	6月13日～23日	1,584	5.14	11 - 25	19	10
1995年	6月14日～23日	23	0.06	14 - 19	17	8
1996年	6月12日～21日	3,741	9.91	13 - 21	18	9
1997年	6月11日～18日	55	0.17	13 - 17	15	7
1998年	6月9日～18日	69	0.18	10 - 17	13	8
1999年	6月10日～17日	243	0.75	11 - 23	17	7

今回の北辰丸の調査を含めた各機関の資料を基にして、7月29日にイカ類漁海況予報が発表されます。漁海況予報は、発表されしだいこの浮魚ニュースで紹介します。

次回の北辰丸による調査は、6月23日～7月2日にマサバ・マイワシ漁期前調査を行います。

（文責：釧路水産試験場資源管理部）